

1 開催日時

令和6年12月17日（火）18:00～

2 開催場所

宇部市役所4階 教育委員室

3 議 題

- ・議案第16号 令和7年度宇部市立小・中学校教職員異動方針について

その他の事項

- ・第1回宇部市地域スポーツクラブ連絡協議会について
- ・寄附の報告について

令和7年度宇部市立小・中学校教職員人事異動方針

宇部市教育委員会

未来を拓くたくましい「やまぐちっ子」の育成のためには、本県の強みであるコミュニティ・スクールの連携・協働体制やICT環境を生かして、地域とともにある学校づくりや特色ある学校づくりを推進し、社会総がかりで教育力の向上を図ることが必要である。

このため、各学校においては、山口県教育委員会が定めた「教職員人材育成基本方針」に基づき、教職員一人ひとりがキャリアステージに応じた資質能力の向上を図り、専門性を発揮しながら、「個別最適な学び」と「学び合い」のある授業づくりによる確かな学力の育成や体力の向上、いじめ・不登校対策の充実、キャリア教育の推進などの諸課題に組織的かつ適切に対応できるよう、下記の点を踏まえ、厳正に人事の刷新を図り、全市的な視野に立って、適材を適所に配置する。

記

- 1 各学校の教職員については、専門性や現任校での勤務年数及び教職員構成等を踏まえ、適切な配置を進める。
なお、同一校勤務が、7年を超える者については原則として異動を行う。
- 2 教員としての多様な経験を積むことや教員相互の研修を深めることができるよう、小・中連携を中心に異校種間の人事交流を推進するとともに、規模の異なる学校間での交流や他市との研修交流を積極的に行う。
また、同様の観点から、宇部市内3つの学校群において、全ての学校群での勤務を一度は経験することを原則とする。
- 3 新規採用者については、学校の育成環境等を踏まえ、実践的指導力を高めることができるよう、計画的な配置を行う。
- 4 校長、教頭等の管理職の配置に当たっては、学校課題の解決に向けて、適材適所の配置ができるよう、県教育委員会と十分に連携することとする。

地域クラブ移行の実施体制

中学校の新たなスポーツ・文化活動体制整備協議会（随時開催）

※地域部活動の仕組みづくり及び運営方法の検討

- 地域クラブ活動方針の策定
- 地域クラブの手引き策定・改訂
- 指導者人材バンクの設置 など

活動状況報告

- 課題共有
- 解決策の検討など

宇部市地域クラブ連絡協議会

事務局：首長部局：スポーツ振興課

補助金等による支援

- 指導者謝金
- 消耗品等

統括コーディネーター

運営支援、各種調整全般

地域クラブ

- ● 剣道クラブ
 - ・指導者謝金
 - ・運営支援

- ■ 地区卓球クラブ
 - ・指導者謝金
 - ・運営支援

学校と連携した活動

学校施設利用等

関係中学校



随時連携

教育委員会：学校教育課

宇部市地域クラブ連絡協議会について

■ 目的

市内で活動する地域スポーツクラブの定着・発展を促進するため、その円滑な運営に資する情報交換や交流の活性化を図り、宇部市立中学校の生徒にとってふさわしいスポーツ活動を実現する

■ 協議事項

- 地域クラブ間の交流、連携、情報交換に関すること
- 学校及び関係機関との連絡調整に関すること
- 地域クラブ指導者等の資質向上に関すること
- その他必要な事項に関すること

■ 組織

- 【会長】 宇部市スポーツ振興課長
- 【副会長】 教育委員会事務局学校教育課長
- 地域クラブの代表者
- 地域クラブに関係する中学校長
- その他協議会の趣旨に賛同する者

■ その他

- 会員の報酬は無報酬
- 次回会議は令和7年2月～3月頃を予定

宇部市地域クラブの認定状況

■ 認定済 クラブ一覧

クラブ名	関連学校	種目	備考
桃山クラブ	桃山中学校	軟式野球	補助金申請準備中
Basketball Club JIN	神原中学校	バスケットボール (男子)	補助金申請中
宇部バスケットボールクラブ	常盤中学校	バスケットボール (男子)	補助金申請中
Goppoええぞなクラブ	東岐波中学校	剣道・卓球	地域スポーツクラブ活動体制整備事業 (国実証事業) 実施中
上宇部中学校バスケットボール部活	上宇部中学校	バスケットボール (男女)	補助金申請準備中

■ 認定申請中 クラブ一覧

クラブ名	関連学校	種目	備考
厚南バスケットボールクラブ	厚南中学校	バスケットボール (男子)	
Rush	東岐波中学校	バスケットボール (男子)	

■ 申請検討中

▶ サッカー部、野球部、剣道（一部学校）などが次年度以降の申請に向けて
運営体制等について検討中

令和6年度宇部市地域クラブ活動補助金

- 地域スポーツクラブの体制整備や指導者の配置等への支援を目的として新たな補助制度を創設
- 次年度以降の支援制度の検討のため、令和6年度は実証的に支援を実施

■ 補助率及び補助上限額

- ▶補助率：補助対象経費の2/3以内
- ▶補助上限額：300千円と加入生徒数に5千円を乗じて得た額を合算した額（市内生徒のみ）
【算出方法】
※交付申請時の加入生徒25名（市内：20名、市外5名）の場合
 $300千円 + (市内：20名 \times 5千円) = \underline{400千円}$ （補助上限額）

■ 補助対象経費

経費区分	内容
借料損料	活動会場等の借料及び損料
消耗品費	ボール、ユニフォーム等
備品購入費	長期間にわたって使用できる活動に必要な物品の購入等
印刷製本費	広報物の作成等
通信運搬費	広報物の郵送等
活動費	大会登録料、出場料
保険料	参加する <u>生徒</u> の保険料
諸謝金	指導者配置に係る謝金 ※指導者が複数人いる場合は、活動日毎に1名分

宇部市認定地域クラブについて

■ 宇部市からの支援

- ▶活動するために必要となる費用の補助⇒補助制度の創設
- ▶公共のスポーツ施設の低廉な利用料※での利用を認めるほか、地域の学校をはじめとする学校施設利用を優先的に許可
(※子ども料金がある場合は子供料金、その他は利用料の半額)
- ▶指導員が不足した場合の人材バンク登録指導員の派遣
※山口県人材登録バンク登録状況（個人：11名、団体：14件 いずれも市内は0件）

■ 確認事項

○地域クラブ運営において、以下の点にご協力をお願いします

- ▶学校部活動を引き受ける団体であることを踏まえ、活動の運営・維持に必要な範囲で、可能な限り低廉な会費になるよう努めてください
- ▶活動状況について、定期的に生徒の在籍校・保護者と情報共有を行ってください
- ▶クラブ規約に準じて、会議（総会等）を定期的に開催してください
- ▶活動内容を著しく変更する場合は、変更事業計画書を宇部市に提出してください
- ▶年度末までに活動完了報告書（様式第5号）を提出してください

今後の検討事項について

■ 補助制度について

▶今年度の実証結果を踏まえて、次年度以降の補助制度の制度設計を行います

【検討事項】

- 学校用品の継続使用及び更新の有無
- 指導者確保に向けた適正な指導者謝金の在り方（単価、人数等）
- 経済的に困窮する家庭の参加費用の支援
- 運営団体の自走に向けた制度設計（段階的な補助金の減額等）

■ 認定制度について

【新たな地域クラブ活動の在り方】※国ガイドラインより

地域のスポーツ団体、学校等の関係者の理解と協力の下、従来の学校部活動に属していた生徒はもとより、希望する全ての生徒の活動の場として、地域クラブ活動を行う環境を整備

認定制度における問題点

- 校区・市域を超えた活動について、複数学校間の調整が困難
- ベースの部活動がない活動や部活動の枠組みを超えた活動については、認定の対象外
- 認定クラブが増加していく中、今後の具体的な管理・監督体制が未確定

新たな地域クラブ活動の在り方に対応した制度を検討中

部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備

令和7年度要求・要望額
(前年度予算額)

69億円
32億円)



方向性・目指す姿

- ✓ 地域の実情に応じた持続可能で多様なスポーツ・文化芸術環境を整備し、多様な体験機会を確保。
- ✓ 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保。学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- ✓ 自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- ✓ 子供や大人、高齢者や障害者の参加・交流を推進する地域スポーツ・文化芸術活動の中に部活動を取り込む。ウェルビーイングの実現、まちづくりの推進。
- ✓ 「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、地域の実情に応じたスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消。

事業内容

I. 地域クラブ活動への移行に向けた実証 46億円 (12億円) 委託・拡充

各都道府県・市区町村の地域スポーツ・文化芸術活動の推進体制等の下で、コーディネーターの配置を含む運営団体・実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を実施し、国において事業成果の普及に努めるとともに、全国的な取組を加速する。

(1) 地域クラブ活動への移行に向けた実証 ※取組例

体制整備

- 関係団体・市区町村等との連絡調整
- コーディネーターの配置、地域学校協働活動推進員等との連携の在り方
- 運営団体・実施主体の体制整備や質の確保

指導者の質の保障・量の確保

- 人材の発掘・マッチング・配置
- 研修、資格取得促進
- 平日・休日の一貫指導
- ICTの有効活用

関係団体・分野との連携強化

- スポーツ協会、競技団体、文化芸術団体、大学、企業等
- スポーツ推進委員、地域おこし協力隊
- まちづくり・地域公共交通

参加費用負担の支援等

- 困窮世帯の支援
- 費用負担の在り方

面的・広域的な取組

- 地域クラブ活動の拡大
- 市区町村等を越えた取組

内容の充実

- 複数種目、シーズン制
- 体験型キャンプ
- レクレーション的活動

学校施設の活用等

- 効果的な活用や管理方法

※ 実証事業2年目、3年目となる地域クラブ活動は、原則、国費だけでなく、一定の割合の受益者負担や行政・関係団体の自主財源からの支出、企業等からの寄付など組み合わせにより、持続的に活動することを前提とした仕組みを構築し、検証。
 ※ 平日・休日の一貫指導や市区町村を越えた取組など、地域の実情に応じた最適化・体験格差の解消を図る意欲的な取組を推進。

★ 重点地域における政策課題への対応

地域スポーツ・文化芸術環境の整備に先導的に取り組む地域を**重点地域として指定し、政策課題への対応を推進する。**

<主な政策課題>

- 多様なスポーツ・文化芸術体験の機会の提供(マルチスポーツ環境等の整備)
- 高校との連携やジュニアからシニアまでの多世代での取組
- スクールバス等の活用や地域公共交通との連携
- 不登校や障害のある子供たちの地域の学びの場としての役割
- トレーナーの活用を含めた安全確保の体制づくり
- 企業版ふるさと納税等を含む民間資金の活用
- 持続的・安定的な運営を担うマネジメント人材の育成

・体育・スポーツ・文化芸術系の大学生、パラアスリート等を含むアスリート・アーティスト人材等の活用

・学校体育・教育施設の拠点化や社会体育・教育施設との一体化などによる地域スポーツ・文化芸術の活動拠点づくり

・動画コンテンツ等の活用

・多様なコースに対応した大会の開催

・運営の効率化のためのシステム整備 等

- (2) 課題の整理・解決策の具体化、地域クラブ活動のモデル構築・プロセス明確化、整備促進等**
- ・事業成果の普及方策、地域クラブ活動の整備に伴う新たな課題の整理・解決策の具体化
 - ・地域クラブ活動のモデルの構築・プロセスの明確化、持続的・安定的な運営に向けた仕組みづくり
 - ・複数自治体が連携した地域クラブ活動の整備促進方策の展開、全国的な取組の推進 等

※1 補助割合について、都道府県又は指定都市の場合は、国/1/3、都道府県・指定都市2/3。
 ※2 コミュニティスクール(学校運営協議会)等の仕組みも活用。

II. 中学校における部活動指導員の配置支援 20億円 (18億円) 補助・拡充

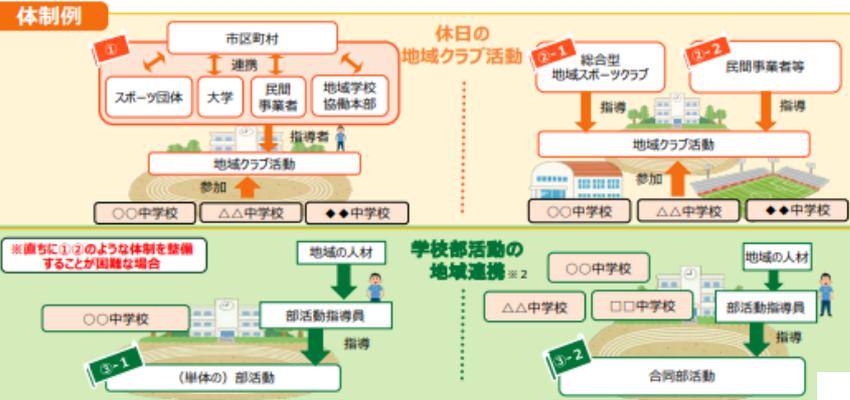
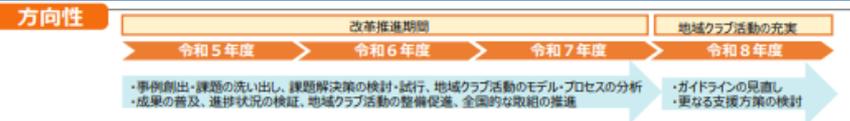
各学校や拠点校に部活動指導員を配置し、教師に代わる指導や大会引率を担うことにより、生徒のニーズを踏まえた充実した活動とする。(補助割合：国1/3、都道府県1/3、市区町村1/3) ※1

➡ 部活動指導員の配置を充実【17,500人(運動部：14,000人、文化部：3,500人)】

III. 地域における新たなスポーツ環境の構築等 3億円 (3億円) 補助・委託

上記の施策を支える**新たなスポーツ環境の構築等**のため、以下の取組を実施。

- ・公立中学校の**施設の整備・改修を支援**(用具保管の倉庫設置、スマートロック設置に伴う扉の改修等)
- ・指導者養成のための講習会や**暴力等の根絶**に向けた啓発活動の実施等。
- ・大学生が卒業後も継続的に地域の中学生の指導に当たる**仕組みを構築**。
- ・子供たちの多様なスポーツ機会創出(マルチスポーツ)、デジタル動画によるサポート体制整備。



※ 本資料における「スポーツ」には障害者スポーツを、「文化芸術」には、障害者芸術を、「中学校」には特別支援学校中学部等を含む。体制例は、あくまでも一例である(担当：スポーツ庁地域スポーツ課、文化庁参事官(芸術文化担当))

寄 附 (11月分)

令和6年12月17日 報告

寄附年月日	寄 附 者	金 額 等	趣 旨 等
令和6年11月7日	匿 名	5,000 円	交通遺児のため として (平成24年度から通算151回目)